

## ルータ

### RVS4000-JP GUI 設定ユーティリティ 画面一覧

#### 設定(本体の設定)(テキスト版)

Router (RVS4000-JP)の GUI 設定ユーティリティ(Web 画面)について説明します。

Small Business 製品の設定及び状態確認は GUI(Web 画面)で行うことができます。

RVS4000-JP の GUI は、

- 1) 設定(本体の設定)
- 2) ファイアウォールの設定
- 3) VPN の設定
- 4) 各種管理の設定
- 5) IPS の設定
- 6) L2 スイッチの設定
- 7) ステータスの表示

の7項目にて構成されております。

本ドキュメントでは、1)設定(本体の設定)について説明します。

## 1. ログイン

Router のすべての GUI 設定ユーティリティを表示するには、WindowsPC とルータを LAN ケーブルにて接続し、

インターネットエクスプローラにてログインする必要があります。Router の IP アドレスは、デフォルトでは、192.168.1.1 となっておりますので、アドレスバーの入力し、ログイン画面を表示します。



### Router (RVS4000-JP) ログイン画面

上記の画面において、ユーザー名及びパスワード(デフォルトではともに admin)を入力し、OK を選択します。

OK を選択することにより、以下に示す本体の概要画面が表示されます。

Small Business  
**cisco** RVS4000 4ポートギガビットVPNセキュリティルータ

設定  
 ファイアウォール  
 VPN  
 QoS  
 各種管理  
 IPS  
 L2スイッチ  
 ステータス

**概要**

**システム情報**

ファームウェアバージョン: V2.0.2.7  
 CPU: STAR 9202  
 システムアップタイム: 0日,01:55:23  
 DRAM: 64MB  
 フラッシュ: 8MB

**ポート統計情報**



**ネットワークの設定ステータス**

LAN IP: 192.168.1.1  
 WAN IP: 111.171.148.28    
 モード: Gateway  
 DMZ: Off  
 DNS1: 202.248.0.72  
 DNS2: 210.131.113.126  
 DDNS: Off

**ファイアウォールの設定ステータス**

DoS(サービス拒否): On  
 WAN要求のブロック: On  
 リモート管理: Off

**IPSec VPNの設定ステータス**

**IPSec VPNの概要:**  
 使用中のトンネル: 0  
 使用可能なトンネル: 5

**ログの設定ステータス**

Eメール: Eメールを送信できません。宛先SMTPサーバアドレスが指定されていません。

### RVS4000-JP 概要画面(初期表示画面)

上記の概要画面において左下の更新を選択することにより、概要に表示されているステータスを更新します。

上記の画面において、左側のメニューにて設定を選択することにより、以下の画面が表示されます。

## 2. 設定-概要

The screenshot shows the Cisco RVS4000 web interface. The left sidebar contains a navigation menu with '設定' (Settings) expanded, and '概要' (Summary) selected. The main content area is titled '概要' and contains several sections:

- システム情報** (System Information):
  - ファームウェアバージョン: V2.0.2.7
  - CPU: STAR 9202
  - システムアップタイム: 0日, 01:58:29
  - DRAM: 64MB
  - フラッシュ: 8MB
- ポート統計情報** (Port Statistics): Includes a photograph of the device.
- ネットワークの設定ステータス** (Network Settings Status):
  - LAN IP: 192.168.1.1
  - WAN IP: 111.171.148.28 (with buttons for '接続解除' and '接続')
  - モード: Gateway
  - DMZ: Off
  - DNS1: 202.248.0.72
  - DNS2: 210.131.113.126
  - DDNS: Off
- ファイアウォールの設定ステータス** (Firewall Settings Status):
  - DoS(サービス拒否): On
  - WAN要求のブロック: On
  - リモート管理: Off
- IPSec VPNの設定ステータス** (IPSec VPN Settings Status):
  - IPSec VPNの概要
  - 使用中のトンネル: 0
  - 使用可能なトンネル: 5
- ログの設定ステータス** (Log Settings Status):
  - Eメール: Eメールを送信できません。発信SMTPサーバアドレスが指定されていません。

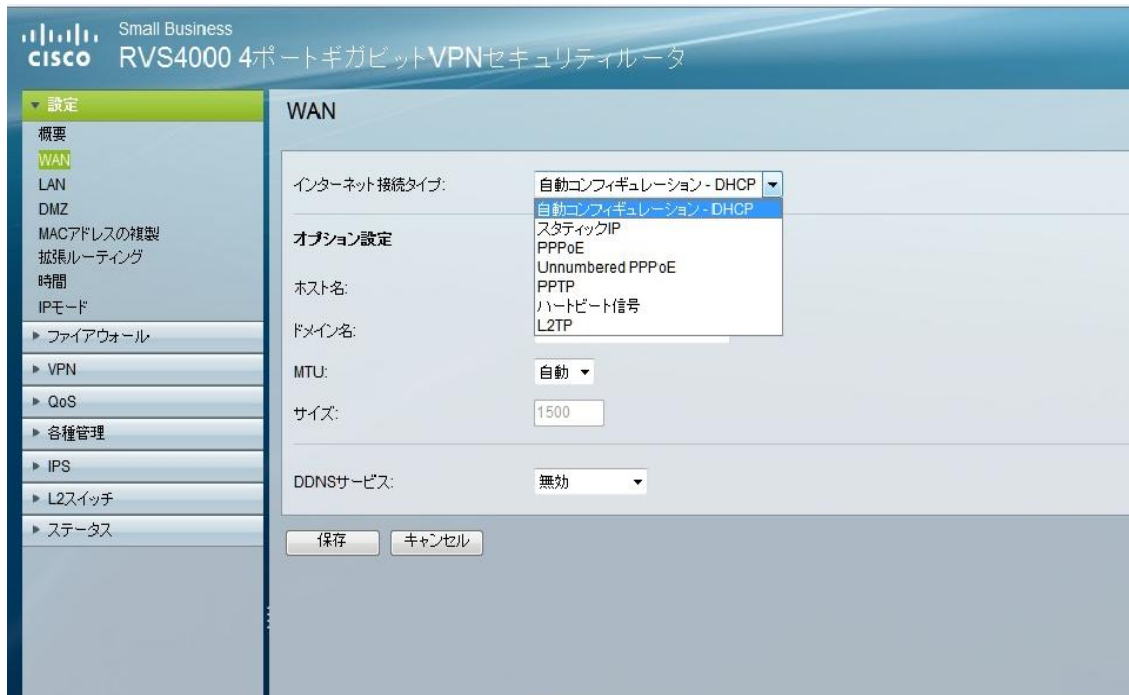
A '更新' (Refresh) button is located at the bottom of the page.

### 設定-概要画面

上記の画面のように左メニューの設定の直下に概要が表示され、それより下に本体の各設定項目が表示されます。

上記の画面において WAN を選択することにより、以下の WAN の設定画面が表示されます。

### 3. 設定-WAN



#### 設定-WAN 画面

上記の画面が WAN の設定画面です。ここでは、インターネットの接続タイプを選択し、そのタイプに対応する情報を

入力後、保存を選択します。

続いて、LAN の設定を行います。上記の画面において LAN を選択することにより、以下の画面が表示されます。

## 4. 設定-LAN

### LAN

---

#### IPv4

ローカルIPアドレス:

サブネットマスク:

---

#### サーバ設定(DHCP)

DHCPサーバ:  有効  無効  DHCPリレー

DHCPサーバ:

開始IPアドレス:

DHCPユーザの最大数:

クライアントリース時間:  分(「0」は「1日」の意味)

スタティックDNS 1:

スタティックDNS 2:

スタティックDNS 3:

WINS:

---

#### スタティックIPのマッピング

スタティックIPアドレス:

MACアドレス:

ホスト名:

---

#### IPv6

IPv6アドレス:  プレフィクス長:

ルータアドレスソート:  有効  無効

---

#### DHCPv6

DHCPv6:  有効  無効

リース時間:  分(「0」は「1日」の意味)

DHCPv6アドレス範囲の先頭:

DHCPv6アドレス範囲の末尾:

プライマリDNS:

セカンダリDNS:

設定-LAN 画面

上記の画面が LAN の設定画面です。ここでは、ネットワーク上に配置する本ルータのローカル IP アドレス等 LAN 環境の設定を行います。

各項目に対して設定可能な範囲内にて情報を入力し、保存を選択します。

続いて、必要に応じて DMZ の設定を行います。上記の画面において DMZ を選択することにより、以下の画面が表示されます。

## 5. 設定-DMZ



### 設定-DMZ 画面

上記の画面が DMZ の設定画面です。ここでは、公開する IP アドレスがある場合、DMZ ホスティングを有効とし、DMZ ホストの IP アドレスを入力後、保存を選択します。

続いて、インターネットサービスプロバイダ (ISP) に PC の MAC アドレスを登録している場合、MAC アドレスの複製を行います。

上記の画面において MAC アドレスの複製を選択することにより、以下の画面が表示されます。



## 6. 設定-MAC アドレスの複製



### 設定-MAC アドレスの複製画面

上記の画面が MAC アドレスの複製の設定画面です。ここでは、ISP に PC の MAC アドレスを登録している場合に、その MAC アドレスを本ルータがクローンし、ISP に登録済みの PC の MAC アドレスをルータの MAC アドレスに変更することなしに ISP を使用するために設定です。

必要がある場合 (ISP が PC の MAC アドレス登録制) の場合は、MAC アドレスの複製を有効とし、登録済の PC の MAC アドレスを入力後、保存を選択します。

続いて、拡張ルーティングの設定を行います。上記の画面において拡張ルーティングを選択することにより、以下の画面が表示されます。

## 7. 設定-拡張ルーティング



設定-拡張ルーティング画面

上記の画面が拡張ルーティングの設定画面です。ISPと接続する場合は、動作モードでゲートウェイを選択します。このモードでは、接続されるすべてのネットワークデバイスからWANの参照が可能となります。

動作モードがゲートウェイの場合はNATが有効となります。

動作モードにてルータを選択した場合は、他にISPと接続しているルータが必要となります。また、NATは無効となり、PC毎にインターネットのIPアドレスの設定が必要となります。

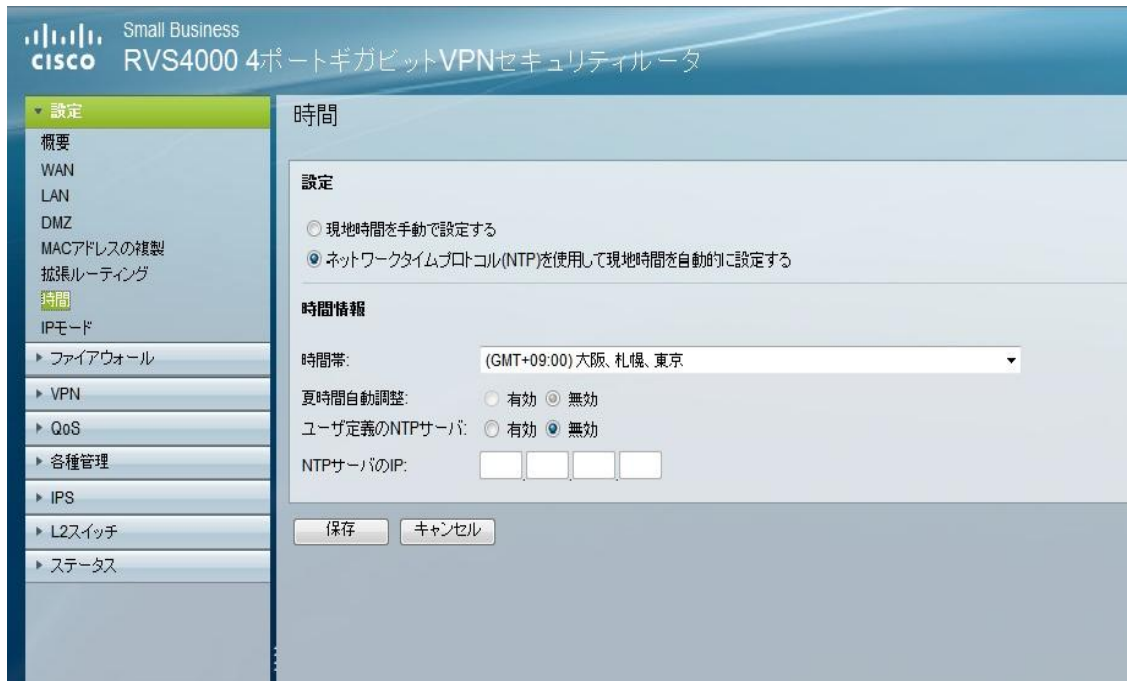
スタティックルーティングが必要な場合は、スタティックルーティングのエントリを作成します。

VLAN間ルーティング(異なるサブネットVLAN間パケットルーティング)が必要な場合に、VLAN間ルーティングを有効にします。

拡張ルーティングの設定が完了後、保存を選択します。

続いて、本ルータの時間の設定を行います。上記の画面において時間を選択することにより、以下の画面が表示されます。

## 8. 設定-時間



### 設定-時間

上記の画面が時間の設定画面です。ここでは、ルータの時間を手動で設定するのか、NTPを使用するのかを選択します。さらに、日本の場合は時間帯で(GMT+9:00)大阪、札幌、東京を選択します。待つ時間の調整が必要な場合は夏時間を有効にします。

ユーザ自身がNTPサーバを持っている場合には、ユーザ定義のNTPサーバを有効にし、NTPサーバのIPアドレスを入力します。

時間の設定が完了後、保存を選択します。

最後にIPモードの設定を行います。上記の画面においてIPモードを選択することにより、以下の画面が表示されます。

## 9. 設定-IP モード



### 設定-IP モード画面

上記の画面が IP モードの設定画面です。モードを IPv4 のみと選択した場合は、インターネット及びローカルネットワークは IPv4 を利用します。

デュアルスタック対応 IP を選択した場合は、インターネットは IPv4 を利用し、ローカルネットワークでは IPv4 及び IPv6 を利用します。LAN の IPv6 ホストは、6to4 トンネル (RFC3056) を経由してリモートの IPv6 アイランドに接続します。

IP モードの設定が完了後、保存を選択します。

以上で RVS4000-JP の設定 (本体の設定) の説明は終了です。